

賃餅搗營業ひろめ

各様益健勝被遊御坐恐悅至極に奉存
候陳者今般皆様の御便利を圖り左の
割合を以てちん餅御引受申候間何卒
御用向被仰付度偏に奉願候

賃餅壹斗以上 壹升ニ付 金壹錢ツ、

同 壹斗未滿 壹升ニ付 金壹錢貳厘

粟餅小豆餅之類 壹升ニ付 金壹錢貳厘

餅搗は前日に御沙汰被下候ハ、早速
米とぞ人指出翌朝に至り臺釜せいろ
う臼杵薪手粉共一切持參致候に付只
のし方のみ御手傳可被下候但し一斗
未滿の分は最寄に取集搗立候間御備
鏡餅の類寸法御申聞被下度候

太田内堀裏通り烟草市場之東側

廿一年十二月 小林 幾太郎

附て舊曆正月并に若餅共同様營業仕
候間不相替御引立奉願候

賃餅搗營業ひろめ 文庫10-8028-2

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library